

1 開 会

2 報 告

- (1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について
- (2) 緊急事態宣言の終了について
- (3) 宮城県・仙台市独自の緊急事態宣言の発令について
- (4) 県の対応（感染防止対策）について

資料1

資料2

資料3

資料4

3 その他

4 本部長指示

5 閉 会

新型コロナウイルス感染症の発生状況等について

資料 1
令和 3 年 3 月 24 日
新型コロナウイルス感染症
対策本部事務局

現時点の感染状況等について、報告するもの。

1 発生状況等

(1) 国内発生数等（チャーター便帰国者を除く）

（3月22日00:00現在）

PCR検査 実施者数	陽性者数	入院治療等を要する数		退院又は療 養解除者数	死亡者数	確認中
			重症者数			
875万2383	45万4438	1万3271	324	43万2017	8833	643

・3月中旬以降、下げ止まりから増加傾向

・首都圏の感染状況

新規報告数は夏の感染拡大後の底値に比べ未だ高い

国内の新規感染者数の過半数を占める、下げ止まり又は増加傾向

人流が再び増加傾向

(2) 東北各県発生数

（3月22日00:00現在）

青森県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
896	4,630	277	646	2,314

・宮城県・福島県は依然新規感染者数が多く、他の県は散発的な感染者の発生

・福島県・青森県においては、変異ウイルスの感染が判明

・宮城県・仙台市において独自の緊急事態宣言(3/18～4/11)

(3) 岩手県内発生数等

ア 発生数等

（3月22日15:00現在）

PCR検査 実施者数	陽性者数	入院治療等を要する数		退院又は療 養解除者数	死亡者数
			重症者数		
3万2296	588	26	0	532	30

・3月中旬(久慈・盛岡・矢巾・滝沢)、新規感染者は増加傾向

・盛岡地域でクラスター発生

(4) 県内全般の感染状況の評価

ステージⅠ (3月22日県対策本部会議)

【参 考】

医療提供体制等の状況

厚労省HP (3月19日00:00現在)

区分	医療提供体制等の負荷					監視体制	感染の状況		
	病床ひっ迫具合				療養者数 (10万人 当たり)	P C R 陽性率 (1週間 平均)	新規 感染者 (10万人 当たり) (週)	新規 感染者数 の前週比	感染経 路不明割 合
	病床全体		重症者用病床						
	確保病 床 使用率	確保想定 病床使用 率	確保病床 使用率	確保想定 病床使用率					
ステージⅢ	25	20	25	20	15	10	15	1	50
ステージⅣ		50		50	25		25	1	
岩手県	4. 2	4. 2	0. 0	0. 0	1. 3	0. 8	1. 47	6. 00	66. 7
全 国	19. 4	19. 0	14. 4	13. 5	9. 5	2. 4	6. 66	1. 10	40. 6
宮城県	17. 4	13. 3	9. 3	6. 2	17. 1	5. 5	19. 38	1. 85	52. 7
東京都	25. 5	23. 5	24. 6	24. 6	20. 1	2. 8	14. 93	1. 09	49. 8
大阪府	24. 9	24. 5	21. 7	21. 7	11. 5	1. 9	8. 67	1. 40	49. 8

ステージⅠ 【感染者が散発的に発生】
 ステージⅡ 【感染者の漸増】
 ステージⅢ 【感染者の急増】
 ステージⅣ 【爆発的な感染拡大】

・ 県内は、医療提供体制等に特段の問題はない。

(5) 盛岡市の発生数等

(3月22日15:00現在)

陽性者数	入院治療等を要する数		退院又は療 養解除者数	死亡者数
		重症者数		
208	8	0	184	16

・ 盛岡市内において、新規感染者が確認され、感染経路不明のものもみられる。
 ・ 新たなクラスターも発生しているが、医療提供体制等にも問題はない。

2 今後の推移予測等

・ 年度末の進学・就職等に伴う人の移動による散発的な感染者の発生を危惧
 ・ 現在のところ、変異株の感染事例は確認できていないものの、ワクチン接種前に感染拡大も予期されるため、現在の拡大防止策を徹底・継続する必要

資料 2-1

新型コロナウイルス感染症緊急事態の終了

令和 3 年 3 月 18 日
新型コロナウイルス感染症
対 策 本 部 長

新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成 24 年法律第 31 号）第 32 条第 1 項の規定に基づき、令和 3 年 1 月 7 日、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言をしたところであるが、緊急事態措置を実施すべき期間とされている同年 3 月 21 日をもって、緊急事態が終了する旨を公示する。

緊急事態宣言解除後の新型コロナウイルス感染症への対応

令和3年3月18日
新型コロナウイルス感染症対策本部

- 解除後もこれまでの経験を踏まえた取組が必要。国・自治体は監視、検査等の体制を着実に整え、国民の行動変容への理解と協力を得ていく。
- 忘年会等での感染や帰省による世代間の伝播等を契機に生じたと考えられる急速な感染拡大については、年初から2か月半の間の緊急事態宣言により感染状況は改善。この間に特措法及び感染症法の改正法が成立し、ワクチン接種が開始される一方、従来株よりも感染性が増していることが懸念される変異株への感染が国内でも継続的に確認。
- 基本的な感染予防策の徹底が重要といったこれまでの経験で学んできたことを社会全体で共有することが必要。そして同じく、これまでの経験で明らかになった感染リスクの高い場（飲食の場、恒例行事など）に着目した戦略的な情報発信の強化とともに、正しい知識の普及、偏見・差別等の防止に向けた情報発信等を推進。
- 社会経済活動を継続しつつ、再度の感染拡大を防止し、重症者・死亡者の発生を可能な限り抑制するため、国及び自治体において、1.～5.の取組を進める。コロナ禍の中での医療提供とワクチン接種の双方に対応する医療関係者の負荷を減少させ、地域の変異株の探知を的確に行えるようにするためにも、感染防止対策の徹底が必要。
- 特に、都市部から周辺地域へというこれまでの感染拡大の経過を踏まえるとともに、特に東京都を始めとする大都市部について、自治体と密接に連携し、感染拡大を防止するため、機動的に徹底的な対策を実施。

1. 飲食の感染対策

- ・ガイドラインの見直し・徹底による飲食店等における感染防止策の促進
- ・AIシミュレーションや新技術の導入による新たな感染防止策の促進
- ・クラスター対策の強化、改正特措法の活用などによる早期対応

2. 変異株対策の強化

- ・変異株を早期に探知し、積極的疫学調査と検査等によりクラスターの迅速な封じ込め、社会全体での変異株の感染拡大の防止を図る。
- ・変異株流行国に該当する国の早期拡大、国が運営するセンターによるフォローアップの充実、変異株流行国からの入国者に行う入国後3日目の検査の変更(抗原定量→PCR)、航空便の搭乗者数の抑制など水際措置の強化
- ・変異株スクリーニング検査での抽出割合を早期に40%程度まで引き上げ。民間検査機関・大学等と連携した変異株PCR検査・ゲノム解析の体制強化などを通じたサーベランス体制の強化、専門家派遣等の支援

3. モニタリング検査など感染拡大防止策の強化

- ・行政検査・モニタリング検査・民間検査を組み合わせた戦略的検査の実施
- ・感染拡大の予兆探知のためのモニタリング検査の実施
- ・保健所による感染源推定のための調査を含めた積極的疫学調査の強化
- ・高齢者施設の従事者等への積極的検査など高齢者施設対策の強化
- ・保健所の体制強化（人材育成・確保、専門家派遣等）

4. ワクチン接種の着実な推進

- ・重症化リスクや医療提供体制の確保等を考慮し、医療従事者等、高齢者や基礎疾患を有する者、高齢者施設等の従事者への接種を着実に推進
- ・ワクチンの有効性・安全性に関する情報収集・情報提供を推進

5. 医療提供体制の充実

各自治体で今回の感染拡大局面での課題を点検・改善し、次の感染拡大時に確実に機能する体制に進化させ、「相談・受診・検査」～「療養先調整・搬送」～「転退院・解除」まで、一連の患者対応が目まわりなく行われ、病床・宿泊療養施設が最大限活用される流れを確保

- ・次の感染拡大に備え、概ね4月中を目途に「検査体制整備計画」を見直し
- ・解除後も病床・宿泊療養施設の確保に万全を期すとともに、感染者が短期間に急増する場合の緊急的な患者対応を行う体制もあらかじめ検討し、早急に対応方針を定める。
- ・地域で一般医療とコロナ医療の両立について改めて協議し、病床・宿泊療養・自宅療養の役割分担の徹底や総合的な調全体制の整備により病床活用を効率化した上で、患者受入が実際に可能なコロナ病床・宿泊療養施設を確保。5月中までに「病床・宿泊療養施設確保計画」を見直し
- ・医療機関の役割分担の徹底、医療人材の確保、後方支援医療機関、退院患者を受け入れる高齢者施設等の確保や転院支援の仕組みの導入等により、実効的に病床を確保・活用することを徹底
- ・病床確保・活用の状況及び感染状況を適切にモニタリングし、感染拡大防止策に適時適切に反映
- ・宿泊療養の利活用促進に向けた好事例の横展開、パルスオキシメーターの確保など、宿泊療養・自宅療養を通じた療養環境確保のための取組の推進

新型コロナウイルス感染症

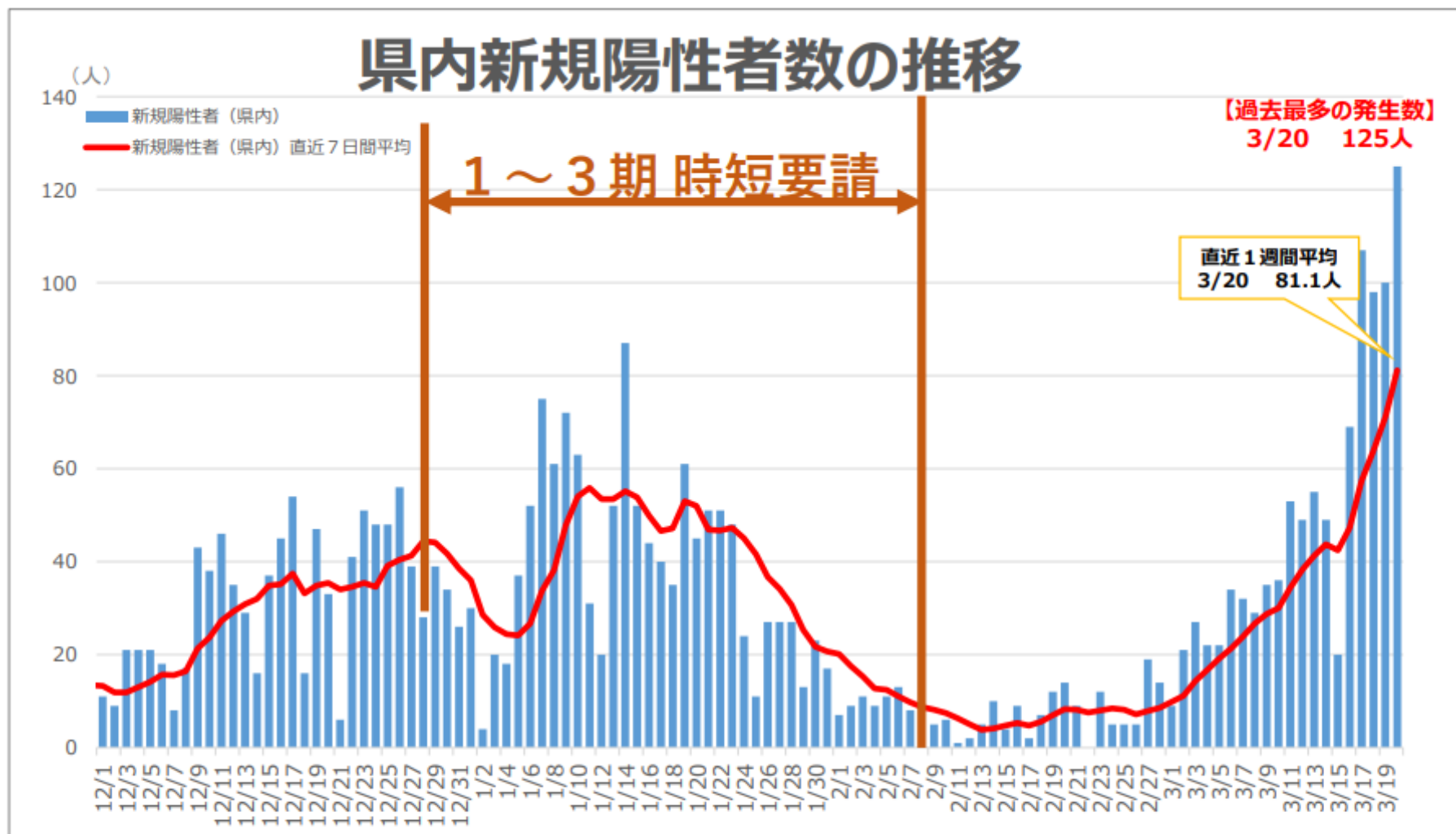
宮城県・仙台市

緊急事態宣言

宮城県・仙台市緊急対策の
実施について

宮城県・仙台市

令和3年3月18日

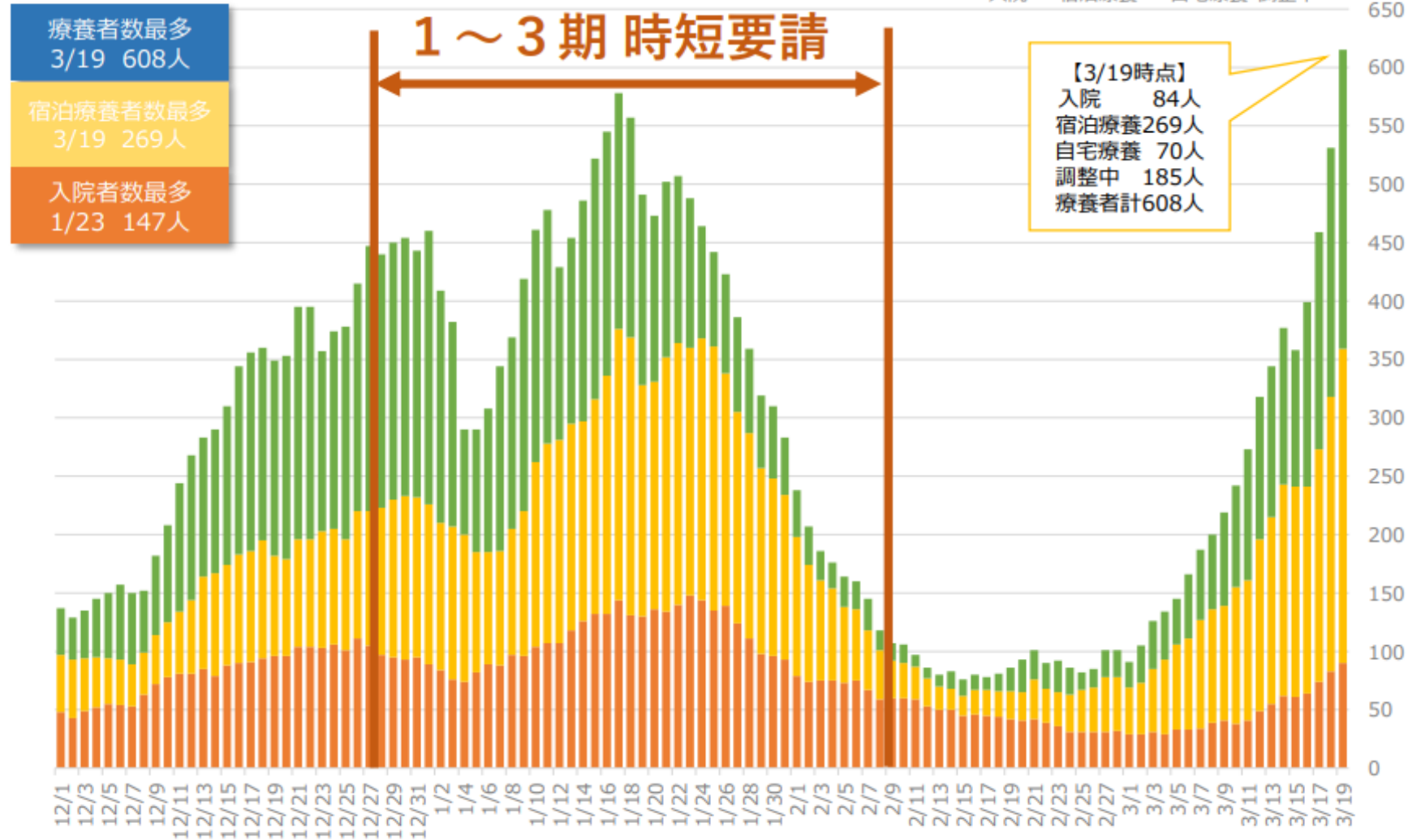


	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
県内新規陽性者数 (一日当たり)	1 (1.0)	6 (0.2)	81 (2.7)	0 (0.0)	6 (0.2)	66 (2.1)	47 (1.5)	199 (6.6)	320 (10.3)	484 (16.1)	981 (31.6)	1218 (39.3)	214 (7.6)	992 (49.6)	4,615 (12.0)
死亡者数	0	0	0	1	0	0	1	0	0	8	6	6	3	2	27

※公表日別に集計・令和3年3月20日現在

宮城県 療養者数推移

(人)



※令和3年3月19日現在

【3月】業種・業態公表状況

R3.3.17現在 計24件

仙台市内		仙台市以外	
飲食店（酒類を提供するもの）	3件	高齢者施設	1件
飲食店（接待を伴うもの）	3件	児童関連施設	1件
刑事施設	1件	教育機関（小学校）	1件
社会保険事業	1件	製造業（輸送用機械器具）	1件
事業サービス業	2件	保育施設	1件
機械器具小売業	2件	建設業（設備工事業）	1件
医療機関	2件		
映像・音声・文字情報制作業	1件		
国家公務	2件		
高齢者施設	1件		

【3月】クラスター発生状況

R3.3.17現在 計9件

仙台市内		仙台市以外	
飲食店（接待を伴うもの）	2件	高齢者施設	1件
飲食店（酒類を提供するもの）	1件		
刑事施設	1件		
社会保険事業	1件		
事業サービス業	2件		
国家公務	1件		

※飲食店以外の幅広い場所で感染が拡大

新型コロナウイルス感染症

宮城県・仙台市
緊急事態宣言

期間：3月18日から4月11日

緊急事態宣言

宮城県・仙台市緊急対策

1 感染抑制対策

- ・県民・仙台市民に向けた実効性のある対策徹底の要請
- ・飲食店・利用者への呼びかけ強化

2 早期発見と感染拡大防止対策

- ・緊急拡大検査の実施
- ・高齢者施設における検査体制等の強化
- ・保健所体制強化による感染封じ込め

3 営業時間短縮要請にむけた機動的な発動

緊急事態宣言

宮城県・仙台市緊急対策

【1 感染抑制対策】

県民・仙台市民に向けた実効性のある対策徹底の要請

期間：令和3年3月18日～4月11日

- 県全域で不要不急の外出や移動を自粛してください。
- 特に混雑する時間帯や混雑する場所へは、できるだけ行かないようにして下さい。
- 多人数での旅行は自粛・延期し、家族・友人などとの少人数の旅行も、今は慎重に判断して下さい。
- 催物の開催基準に合致する場合も、集会・イベントの開催は慎重に判断して下さい。
- 職場でのクラスターが発生していることを踏まえ、休憩時間も含めた感染防止対策を徹底して下さい。

緊急事態宣言

宮城県・仙台市緊急対策

【1 感染抑制対策】

飲食店及び利用者への呼びかけの強化

- ・民間企業・各関係団体の協力による広報の実施(3/18～)
- ・飲食店への個別通知の実施(3/18)
- ・街頭・若者への呼びかけの実施(3/18)

配布チラシ

飲食店での感染拡大防止

に積極的な御協力をお願いします！

01 ガイドラインを守って営業しているお店を選びましょう！



利用者ができること



お店ができること

県の「新型コロナウイルス対策実施中ポスター」を掲示している飲食店はホームページで確認できます。



02 長時間・多人数・大声での飲食は避けましょう！



利用者ができること



お店ができること

会食は、なるべく短い時間、なるべく少人数で、大声を出さずにいきましょう。

03 会話の際はマスクを着用しましょう！



利用者ができること



お店ができること

飲食するときだけマスクを外し、会話の際はマスクをつけましょう。

04 お店が求める感染防止策に協力しましょう！



利用者ができること



お店ができること

飲食店は、お客様には「強い立場」です。感染防止策を実施している飲食店を困らせるような言動はお控えください。

宮城県・仙台市

飲食店掲示用ポスター

お店が求める感染防止策に積極的に協力しましょう！



マスクなし・大声での会話は控えましょう



「マスクを外せ！」と言わないで！

飲食店は、お客様には「強い立場」です。大声での会話を注意したり「マスクを外せ！」などの要請を強行したりすることが難しいとの声が聞かれます。

感染防止策を実施している飲食店を困らせるような言動はお控えください。

宮城県・仙台市

【協力企業（五十音順）】あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、イオン株式会社、カゴメ株式会社、株式会社七十七銀行、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、株式会社ローソン、損害保険ジャパン株式会社、第一生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、日本生命保険相互会社、日本郵便株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、みやぎ生活協同組合、宮城中央ヤクルト販売株式会社、明治安田生命保険相互会社

緊急事態宣言

宮城県・仙台市緊急対策

【 2 早期発見と感染拡大防止対策】

緊急拡大検査の実施

【重点取組】 繁華街における集中検査

飲食店を起点とした感染が、感染拡大の一因となっていることから、飲食店が集まっている繁華街において、集中的に検査を実施する

- 実施場所 仙台市中心部の繁華街
- 実施時期 令和3年3月下旬から

【重点取組】 市中におけるモニタリング検査

市中において幅広くPCR検査を行い、感染状況をモニタリングする

- 実施場所及び対象者
 - ・仙台市中心部における通行者等
 - ・企業の従業員、大学の学生等
 - ・大型集客施設の来訪者等
- 実施時期 令和3年4月から

緊急事態宣言

宮城県・仙台市緊急対策

【2 早期発見と感染拡大防止対策】

高齢者施設における検査体制等の強化

- 感染拡大地域内の高齢者施設において、無症状者を含めた幅広い検査の実施
- 高齢者施設職員を対象とした検査の実施
- ケア付き宿泊療養施設の運用



今後、対象範囲・実施方法の見直しにより検査を拡充

緊急事態宣言

宮城県・仙台市緊急対策

【2 早期発見と感染拡大防止対策】

保健所体制強化による、感染の封じ込め

【重点取組】仙台市保健所への緊急応援

仙台市保健所の状況

新型コロナウイルスによる多数の感染者が発生しており、それに伴う積極的疫学調査の対象が拡大し、また、多数の感染者及び濃厚接触者に対し継続的な健康状態の確認・健康管理とフォローアップ等を行う必要が生じている

仙台市の対応

- 保健所への保健師の更なるシフト
- 事務職員の更なる活用
- 県への応援派遣調整依頼
- 積極的疫学調査、入院等調整などに係る保健所体制の総合的強化

県の取組

- 知事が厚生労働省に対して、専門職の応援派遣の調整について依頼（3/17 保健師20名）
- 県から仙台市保健所に対して3/17リエゾン（保健師）2名を派遣。受け入れ体制が整い次第、県の機関から保健師3名を派遣予定。

国や他県の取組等

- 厚生労働省からリエゾン3名来県
- 近隣県に対して応援派遣依頼
- 外部専門職人材バンク登録名簿の活用
⇒3/18から応援実施

緊急事態宣言

宮城県・仙台市緊急対策

3 営業時間短縮要請にむけた機動的な発動

今後、これ以上の病床ひっ迫となった場合、飲食店に対する営業時間短縮の協力要請を速やかに行う。

新型コロナウイルス感染症に関する留意事項について

令和 3 年 3 月 22 日
岩手県新型コロナウイルス
感 染 症 対 策 本 部

1 他の都道府県等の往来

感染が拡大している地域や外出の自粛等が要請されている地域との往来は慎重に判断するようお願いします。

宮城県・仙台市は独自の緊急事態宣言を出しており、特に仙台市において急激な感染の拡大が確認されていますので、一層の警戒をお願いします。

感染が拡大している地域

- ・ 直近 1 週間の新規患者数（対人口 10 万人）が、15 人以上の地域^{（※1）}
宮城県、沖縄県、東京都

外出の自粛等が要請されている地域

- ・ 不要不急の往来や外出の自粛のお願いをしている地域^{（※1）}
宮城県、群馬県（伊勢崎市、大泉町）、埼玉県、千葉県、東京都、
神奈川県、愛知県

※1 「感染が拡大している地域」及び「外出の自粛等が要請されている地域」

3 月 21 日現在の状況。岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部調べであり、県ホームページで公開していますので、移動の際は、訪問先や出発地の状況の確認をお願いします。

2 年度末等における感染防止

年度末や年度初めは、人の移動や集まる機会が多くなることから、感染リスクの高まる場面に一層の注意をお願いします。

- ・ 歓送迎会、新歓コンパ、飲食につながる謝恩会や花見及びこれに類するものは、大人数や長時間におよぶ飲食など感染リスクの高まる場面に注意して開催すること。^{（※2）}
- ・ 人に接する場合、特にお年寄りに接する場合や会食を伴う場合は、感染対策に気を付けること。
- ・ 他の都道府県から岩手県に来県される際は、来県後 2 週間は、それまでにいた都道府県が要請している自粛等を継続すること。^{（※3）}

<p>※2 感染リスクの高まる場面</p> <p>飲食に当たっては、一定の人数や時間による制限をするものではありませんが、以下のような「感染リスクが高まる場面」に注意して開催いただくをお願いします。</p> <p>(1) 少人数であっても、狭小な空間や他の集団と一緒に密集した空間で行われる飲食の場面</p> <p>(2) 家庭や職場など、いつも近くにいる人以外の飲食の場面</p> <p>(3) 時間の経過に伴い、至近距離での会話や接触のリスクが高まる場面</p> <p>※3 それまでにいた都道府県が要請している自粛等の継続</p> <p>例えば、それまでにいた都道府県において、「不要不急の外出の自粛」、「会食は4人以下で」、「歓送迎会、謝恩会は控えて」等の要請が出されている場合、本県に來られた後も2週間は、引き続きその要請等を守っていただくようお願いするものです。<u>(一律に自宅待機などをお願いしているものではありません。)</u></p>

3 基本的な感染対策の徹底

家庭や職場を含むすべての場における基本的な感染対策の実施をお願いします。

特に重症化リスクの高い方（高齢者、基礎疾患のある方等）^(※4) は一層の注意をお願いします。

家庭や職場を含むすべての場における基本的な感染対策の実施

- ・ 手洗い、常時マスク及び咳エチケットを励行する
- ・ 密閉、密集、近距離での会話や発声等を避ける
- ・ 室内の換気、湿度の調節を心がける

【県民及び岩手県来訪者】

毎日の健康確認、体調不良時は外出を避ける、受診前の電話相談、常時マスク着用、三密を伴う会合等の回避

【事業所】

健康状態・行動歴の記録

【接待を伴う飲食店の利用者と従事者】

接触情報、連絡先情報の記録

【医療機関】

積極的な検査の実施

<p>※4 重症化リスクの高い方（高齢者、基礎疾患のある方等）</p> <p>新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち重症化しやすいのは、高齢者と基礎疾患のある方です。</p> <p>重症化のリスクとなる基礎疾患には、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満があります。</p> <p>また、妊婦や喫煙歴なども、重症化しやすいかは明らかでないものの、注意が必要とされています。</p> <p>出典：「新型コロナウイルス感染症の“いま”についての10の知識」（厚生労働省）</p>
--

4 思いやりの気持ちと冷静な行動のお願い

感染された方々やその家族などに対する差別、偏見、誹謗中傷は決して許されません。相手を思いやる気持ちを持ち、冷静に行動しましょう。

医療関係者をはじめ、県民生活に不可欠なサービスの提供に従事している皆さまに、感謝と思いやりの気持ちをもって応援してくださるようお願いいたします。



岩手県にお住いの皆さま 岩手県に来県される皆さま

～年度末・年度初めにご注意いただきたいこと～

年度末や年度初めは、**人の移動や集まる機会**が多くなりますので、**感染リスクの高まる場面に一層の注意**をお願いします。

歓送迎会、新歓コンパ、飲食につながる謝恩会や花見及びこれに類するものは、大人数や長時間におよぶ飲食など**感染リスクの高まる場面^{*}**に注意して開催すること。



(※) 感染リスクが高まる場面について

飲食に当たっては、一定の人数や時間による制限をするものではありませんが、以下のような「感染リスクが高まる場面」に注意して開催いただくようお願いします。

- (1) 少人数であっても、狭小な空間や他の集団と一緒に密集した空間で行われる飲食の場面
- (2) 家庭や職場など、いつも近くにいる人以外との飲食の場面
- (3) 時間の経過に伴い、至近距離での会話や接触のリスクが高まる場面

人に接する場合、**特にお年寄りに接する場合や会食を伴う場合は**、感染対策に気を付けること。

他の都道府県から岩手県に来県される場合は、**来県後2週間は、それまでいた都道府県が要請している自粛等を継続^{*}**すること。

(※) 他の都道府県の要請等の継続について

例えば、それまでいた都道府県において、「不要不急の外出の自粛」、「歓送迎会、謝恩会は控えて」等の要請が出ている場合に、岩手県に来られた後も2週間は、引き続きその要請等を守っていただくようお願いするものです。(一律に自宅待機などをお願いするものではありません。)

発熱等体調の悪い場合には、**かかりつけ医又は受診・相談センター**（24時間
全日（土日・祝日を含む）TEL：019-651-3175）に**電話相談**をお願いします。

新型コロナワクチン接種に係る取組状況等について

令和3年3月24日
新型コロナワクチン
接種実施本部事務局

1 コールセンターの設置

接種会場の問合せや、電話での予約に対応するため、「盛岡市新型コロナワクチンコールセンター」を3月16日に開設（外部委託）しました。

- (1) 電話番号 0120-220-489（フリーダイヤル）
- (2) 受付時間 9：00～18：00（土・日曜・祝日を含む。）
- (3) 受付内容 ワクチンの接種会場や予約などに関すること。
- (4) 受付体制 最大21回線
- (5) 設置場所 非公開
- (6) 問合せ状況

日付	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22	計
曜日	火	水	木	金	土	日	月	
問合せ件数	28	25	9	11	3	2	1	79

【主な内容】※複数回答

- ・ワクチン接種全般 23件
- ・接種券に関すること 11件
- ・予約に関すること 17件
- ・接種会場に関すること 11件
- ・医学的なこと 13件

ワクチン接種に関する問合せは、国、都道府県、市町村及びワクチンメーカー等が、それぞれの役割に応じて対応することとされており、その内容や必要に応じて、担当の相談窓口を適切に紹介することとされています。

- 厚生労働省：コロナワクチン施策の在り方等に関すること
- 岩手県：医学的知見が必要となる専門的なこと
- ワクチンメーカー：ワクチンに係る個別具体的なこと

2 接種券（クーポン券）等の発送

高齢者へのワクチン接種に向けて、次のとおり、接種券（クーポン券）等を発送します。

- (1) 対象者 65歳以上の高齢者
※令和3年度中に65歳以上に達する方（S32.4.1以前に生まれた方）
- (2) 発送日 令和3年3月26日（金）
※3月31日までに配達完了の見込みです。
- (3) 発送内容 接種券（クーポン券）、予約等に関する案内チラシ、予診票2枚、ファイザー社製ワクチンの説明書
- (4) その他

- ア 高齢者以外の方の接種券は、6月以降の発送となります。
- イ ワクチンの接種には、予約（接種券番号が必要）が必要となりますが、ワクチン供給の関係から、現時点においては、接種券が届いてもすぐには予約はできません。
予約は、LINE、WEB、電話（コールセンター）のいずれかの方法で受け付けますが、予約の開始時期については、市ホームページや市施設へのポスター掲示、報道発表などでお知らせする予定です。
- ウ 4月中に配給されるワクチンは、重症化予防や院内・施設内クラスター発生の予防による医療・介護提供体制の確保を目的として、高齢者施設入所者や長期入院患者等に限定して接種を行う方向で、医療機関等との調整を進めています。従いまして、今後のワクチン供給量にもよりますが、上記以外の一般の高齢者を対象とした接種は、早くても5月以降となる見通しです。

3 市民への周知・啓発

広報もりおかや市ホームページ、市施設へのポスター掲示等のほか、市長定例会見やプレスリリースなどのパブリシティを活用し、広く周知に努めています。